

令和4年12月2日

保護者様

高知県立嶺北高等学校
校長 石川 剛志
本山町立嶺北中学校
校長 小笠原 幸子

給食の黙食継続について

初冬の候、保護者の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、11月30日付けで文部科学省、高知県教育委員会から「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更について通知があり、飲食の場面における感染対策について「飲食はなるべく少人数で黙食を基本とし、会話をする際にはマスクの着用を徹底する等を促す」と示された箇所が削除され、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で、給食の時間において生徒間で会話を行うことも可能との見解が示されましたが、高知県内の新型コロナウイルス新規感染者は増加傾向であり、11月28日には県のステージが『警戒』に引き上げられました。

現在、本校ではランチルームにおいて嶺北中高校の生徒が、同時時間帯に給食をとっていることからほぼ満席の状態となっており、感染防止対策としてアクリル板を設置し黙食を徹底した上で、対面の状態で給食をとっています。本県の感染状況及び本校のランチルームの環境を踏まえて嶺北中高等学校では黙食を継続いたしますので、保護者の皆様には、ご理解をお願いいたします。